

下水管路のマネジメントと管診協の活動

一般社団法人管路診断コンサルタント協会 会長 山崎 義広



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。旧年中は格別のご愛顧を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

昨年は3年続いての新型コロナウイルスの影響により、一般社団法人管路診断コンサルタント協会（管診協）においてもその活動も制限せざるを得ませんでした。そのような状況下にあっても、Web講習会の開催、下水道展'22東京へのブース出展、マンホール管口

点検の新技术「管診鏡」の販売、「下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託業務標準歩掛(案)一令和3年版一」の販売、日本下水道新技术機構との「管渠の長寿命化に資する診断等に関する共同研究」への参画など、下水管路の改築・修繕に資する事業を積極的に実施してまいりました。

下水道施設は衛生的でかつ快適な都市生活には欠くことのできない重要な社会インフラではありますが、施

設の老朽化や人口減少社会の到来など下水道を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。下水道管理者さまにおかれましては、下水管路施設の改築・修繕の調査・計画策定を行われる際には、ぜひ私ども下水管路の専門家グループである管診協会員をご活用いただきますようこの場をお借りしてお願い申し上げます。

本年も引き続き変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。